

## 「オープンアクセスの推進を目的とした論文掲載公開料 (APC) 支援

### (Q&A 集)

(改版履歴)

2025.2          初版

---

#### ● 支援の対象、内容

Q1-1. 支援される APC に上限はあるか？

A. 個々の支援に関して上限はありません。APC の実費を支援します。なお、予算の上限があるため、支援の実施状況 (実績) によっては、申請の受付を終了している可能性があります。

Q1-2. 論文投稿料も支援対象となるか？

A. 支援対象は、APC となります。論文投稿時 (査読前) に一定の投稿料を支払い、掲載決定後に APC を支払うタイプのジャーナルの場合、本支援の対象となるのは APC のみです。掲載決定前に支払う投稿料は支援の対象にはなりません。また、ジャーナルによっては、ページチャージ (ページ数が一定数を超えた場合の追加料金) やカラーチャージ (論文中の Figure をカラーで収録するための料金) 等が別途規程されている場合がありますが、これらの料金も本支援の対象とはなりません。

Q1-3. 即時オープンアクセスではなく、オープンアクセスになるまでに「エンバーゴ期間」がある場合でも支援対象となるか？

A. 支援の対象となります。

Q1-4. 「エンバーゴ期間あり/なし」や「CCライセンスの選択」等で、APCの金額が異なる場合、支援対象の制限はあるのか？

A. エンバーゴ期間の有無や CC ライセンスによって APC が異なる場合、いずれを選択した場合でも支援を実施します (低額なプランを選択しなければならないといった制約はありません)。

Q1-5. 掲載誌が支援対象かどうか (TOP10%ジャーナルかどうか) わからない。Cite Score percentile の調べ方を教えてほしい。

A. 添付資料「TOP10 パーセントジャーナルの確認方法」を参照願います。

Q1-6. 複数年の Cite Score percentile が表示されている場合、過去の Cite Score percentile のいずれかが TOP10%ジャーナルの要件を満たしていれば、申請可能か？

A. 最新の Cite Score percentile で判断します。公平を期すため、同じ条件で判断させていただきます。ジャーナルによっては、最新年の Cite Score の付与対象から除外されているケースがあるかもしれませんが、その場合も支援対象とはなりません。申請情報に基づき、事務局にて最終確認させていただきます。

Q1-7. インパクトファクターの高い雑誌への掲載に対して、同じような支援を実施してほしい。

A. インパクトファクターは、研究分野等によってばらつきが異なり、横並びでの評価が難しいため、Cite Score percentile (相対位置) で判断することとしています。

Q1-8. 研究分野や対象となるジャーナルによっては、著者名をアルファベット順に掲載するというルールに基づく場合がある(キロオーサーペーパーにおいて同様の扱いがなされている事例もある)。このように「筆頭著者」「責任著者」といった概念がない場合(著者の並び順に特別な意味がない場合)、どのように申請すればよいか?

A. 研究分野や対象となるジャーナルの規定等によって、「筆頭著者」「責任著者」の概念がないケースがある場合でも、本支援では、共通の条件(「筆頭著者」または「責任著者」)で判断させていただきます。意に沿えない場合があるかもしれませんが、ご了承ください。

#### ●申請方法

Q2-1. 本支援は何度でも申請することが可能か?

A. 1人の研究者が同一年度に申請できる件数は1件のみとします。なお、申請受付後に要件を満たさないことが明らかとなり、APC 支援を受けられなかった場合は、申請回数にカウントしません。

Q2-2. 現在投稿中の論文があり、まだ掲載確定していないが、確定次第、本 APC 支援を受けたい。掲載が確定する前提(掲載が確定しなかった場合は取り下げる前提)で申請してもよいか?

A. 申請できません。掲載が確定した後で申請してください。限られた予算額の中で、掲載が確定したのから順に支援を実施していき、予算上限額を超えた時点で申請を打ち切ることとしていますので、「見込み」での申請はしないでください。

Q2-3. 今年度中に APC の決済をしていれば、掲載(公開)が次年度になっても、今年度枠での支援になると考えてよいか?その場合、次年度の枠で別の論文に対する支援を受けられると考えてよいか?

A. 論文の掲載(公開)時期は問いません。3月にクレジットカード(法人カード)決済した場合は、次年度の予算の扱いとなります。例えば、3月に APC 支払いのクレジットカード決済を行い、3月中に論文が掲載(公開)された場合でも、予算執行上は次年度の予算となります。この場合、次年度における APC 支援を実施済みの扱いとなりますので、次年度において別の論文に対す

る支援は受けられません。

Q2-4. 2月までに法人カード決済して、3月になってから申請を行った場合、次年度の支援枠で支援されると考えてよいか？

A. 法人カード決済が2月以前(前年度の3月～今年度の2月)の場合、本支援への申請手続き時期(申請フォームへの入力)を3月にした場合でも、本年度の支援枠となります。もしすでに本年度の支援を受けている場合は、同年度に2件以上の支援はできません。

Q2-5. 本支援の申請 form からの申請の前(「支援決定通知」(メール送信)の受領前)に APC の決済を完了してしまった。いまから申請してもよいか？

A. すみやかに申請 form から申請してください。なお、申請 form からの受付順に支援を実施していきます(論文の掲載日の古いものから支援するのではなく、申請 form の受付順です)ので、予算の執行状況(支援の実施状況)によっては、支援が受けられない可能性があります。想定通りの支援が受けられない可能性がありますので、できる限り、「支援決定通知」(メール送信)の受領後に APC の決済を行ってください。

Q2-6. 個人のクレジットカードで決済することは可能か？

A. できません。事務処理の効率化の観点から、法人カードによる決済をお願いしています。なお、APC が高額で、法人カードの「利用限度額」を超える可能性がある場合は、限度額の増枠について部課管理者(学部事務室等)にご相談ください。

Q2-7. 本支援のことを知らずに、「法人カード」以外の決済手段で APC の支払いを完了してしまった。いまから申請してもよいか？

A. 法人カードによる決済を要件としておりますので、APC 支援の対象とはなりません。

#### ●その他

Q3-1. 従来実施されていた「国際学術論文公開奨励研究費(高インパクトの OA 誌掲載への支援)」との併用(重複受給)はできるのか？

A. 「国際学術論文公開奨励研究費(高インパクトの OA 誌掲載への支援)」は、2025 年度から、本支援に変更となりました。現在、「国際学術論文公開奨励研究費(高インパクトの OA 誌掲載への支援)」の新規募集は行っていません。なお、既に「国際学術論文公開奨励研究費(高インパクトの OA 誌掲載への支援)」の支援を受けている場合は、当該奨励研究費の利用期限内は、引き続き奨励研究費を使用することができます。

以上